

『南極から美ら海まで』第2部 目次

自然地理学を学んだ著者が歩んだ道を、各地の美しい写真と専門的考察をまじえて旅日記で紹介します。第2部では45年間にわたる地形学、地球年代学、環境変遷史の研究教育の成果について炭素年代測定法を中心にして、その原理から応用までを解説しました。

はじめに	21	7. 遺跡の年代決定	294
第6章 ヨーロッパの国々	23	8. 古美術品の年代鑑	296
1. はじめに	24	9. 医学分野での応用	297
2. スウェーデン	25	10. 最近の ^{14}C 年代測定法とその応用	297
3. ノルウェー	41	11. AMS ^{14}C 年代測定法の展望	308
4. スイス	50	12. AMS ^{14}C 年代測定法のまとめ	311
5. オーストリアからスイスへ	68	第12章 最近の研究成果	314
6. イギリス	86	I 南西諸島で最古のビーチロックを発見	315
第7章 アイスランドとグリーンランド	96	2. 海水準変動に関連するビーチロック	317
1. アイスランド	97	3. 考察	330
2. グリーンランド	123	II バイオマスに関する研究	338
第8章 日本の北と南	135	1. バイオマスの使用は CO_2 増加による温暖化を防げるか?	338
1. 北海道	136	2. バイオマス試料測定の実理と意義	339
2. みちのく	141	3. バイオマス試料の測定法	340
3. 九州	148	4. バイオマス試料の測定結果	342
4. 美ら海の島々	151	第13章 現役最後の仕事と研究の総括	345
第9章 思い出に残る仕事	169	I 沖縄県で最初のジオパークの推薦を目指して	346
1. はじめての論文	170	1. ジオパークとは	346
2. 放射性炭素年代測定の研究	176	2. 宮渡崎太陽泉の石灰華段丘	347
3. 通説を改める難しさ	179	3. 石灰華段丘と周辺の地形の特徴	349
4. ビーチロックの研究	192	4. 年代測定試料の採取と ^{14}C 年代測定	350
第10章 年代をはかる	210	5. ^{14}C 年代測定結果	350
1. はじめに	211	6. 石灰華段丘の形成過程	354
2. 年代とは	212	7. まとめ	356
3. ^{14}C 年代測定法の実理	216	II 既往研究の総括	357
4. ^{14}C 年代測定法発展の歴史	218	終章 むすび	361
5. 三種類の ^{14}C 年代測定法	224	第6章 ヨーロッパの国々のアルバム	363
6. ^{14}C 年代測定法の限界	237	アルバム	380
7. 知りたい年代を与えてくれる試料	241	第7章のアルバム	380
8. 年代の狂いとその補正	254	第8章のアルバム	389
9. 測定値の解釈	271	第8章および第12章の地図	406
第11章 ^{14}C 年代測定法の利用	277	第9章のアルバム	414
1. ^{14}C 年代測定法の較正	278	第10章のアルバム	417
2. 地形形成年代および堆積年代の決定	279	第11章のアルバム	419
3. 海水準変動の研究	288	第12章のアルバム	422
4. 気候変化の研究	290	第13章のアルバム	427
5. 地殻変動の研究	291		
6. 噴火年代の決定	292		

あとがき	431	引用および参考文献	435
索引	452		

総ページ数 464, グラビア写真 16枚、第1章から終章までのカラー写真合計183枚、図表多数。
発行:小元久仁夫 <2011年8月28日> 非売品(ご入用の方はお知らせ下さい)